

平成4年中における 合計所得金額	軽減又は 免除の割合
180万円以下であるとき	全 部
240万円以下であるとき	10分の8
330万円以下であるとき	10分の6
450万円以下であるとき	10分の4
450万円を超えるとき	10分の2

これは、農作物に被害を受けた農家に対して、平成五年度分の市民税と国保税を減免することによって、被災農家の負担の軽減を図ろうとするものです。

《対象となる農家》

① 冷害による農作物の減収損失額（農業共済組合からの共済金を控除した金額）が、平年における農作物の収入額の十分の三以上である農家

② 平成四年中の合計所得金額が六百万円以下の農家（農業所得以外の所得が二百四十万円を超えるものを除く）

《減免の額》

市民税は農業所得にかかわる所得割額のうち、第三期と四期の税額について（特別徴収の市民税については五年十二月徴収分以降の税額）、国保税は第三期と四期の税額について、次の表により軽減、または免除されます。

大館市地域 種苗センターを設置

「大館市地域種苗センターに関する条例案」が可決されました。

市では、米への依存度が高い農業生産構造の改善を目指して、野菜等園芸作物との複合経営による施設園芸型農業を推進しています。野菜等園芸作物の産地として定着するためには、優良種苗を生産、供給する施設が必要ことから、種苗センターを設置するものです。

- ・ 種苗センターは、
ガラス温室一棟
三七五平方メートル
- ・ パイプハウス五棟
一、二〇七平方メートル
- ・ 防虫ネットハウス二棟



建設中の種苗センター

- ・ 補助温室一棟
五四平方メートル
 - ・ 床土施設一棟
一七二平方メートル
- 総面積二、四五六平方メートルで、赤石宇勢堂岱に建設中で、一月下旬完成予定です。

真中地区でも 農業集落排水事業

餌釣（二年供用開始）、山館（五年供用開始）に続き、真中地区でも五年十二月から農業集落排水事業がスタートしました。農業集落排水事業は、農業用水や河川の水質保全、便所の水洗化など農村地域の生活環境の向上を目的として、集落や地域を対象として行われるもので、集落や地域内の各戸から排出されたし尿や生活雑排水（台所、風呂、洗濯などの排水）を浄化処理する施設を整備するものです。

奨学資金を増額 新たに短大生も対象に

「大館市奨学資金貸与に関する条例の一部を改正する条例案」が可決されました。

これは、近年の大学等における授業料や各種納付金などの引き上げ及び諸物価の高騰に対処し、貸与金額を増額するとともに

に、今までは、四年または六年制の大学在学者に限られていた奨学資金を、新たに短期大学在学者も対象として、就学による経済的負担を軽減し、就学機会の拡大を図ろうとするものです。貸与額は年間二十四万円から三十六万円に改正されました。

人権擁護委員

石川 秀子氏
渡邊 二郎氏
畠山 善三氏
木村和市郎氏

を推薦

人権擁護委員の石川秀子氏（餅田二丁目・七十四歳）、渡邊二郎氏（花岡町・六十九歳）、畠山善三氏（中道一丁目・六十六歳）、木村和市郎氏（釈迦内・六十一歳）の任期が平成六年三月十四日で満了することから、その後任人事案件が提出され、全員推薦されました。

固定資産評価審査委員会委員 蒔苗 誠氏 を選任

固定資産評価審査委員会委員の山城雄作氏の任期が、五年十二月二十二日で満了となったので、その後任人事案件が提出され、蒔苗 誠氏（根下戸町・四十六歳）が選任されました。

大館能代空港設置決定 10年10月開港予定

去る十二月二十七日、運輸省は大館能代空港の設置を正式に許可しました。これにより、県北地域待望の空港建設が、いよいよスタートすることになり、六年度は用地買収と一部造成工事、七年度から本格的な工事が始まります。八年度からは滑走路、ターミナルビルなど空港施設の建設にかかり、平成十年十月の開港を目指します。

大館能代空港は、二千メートルの滑走路、二百三十メートルの誘導路、二万四千七百五十平方メートルのエプロンを有する第三種空港で、総面積は百二十三万七十一平方メートル。アクセス道路などを含めた総事業費は約五百三十億円で、鷹巣町大野台地内に建設されます。

